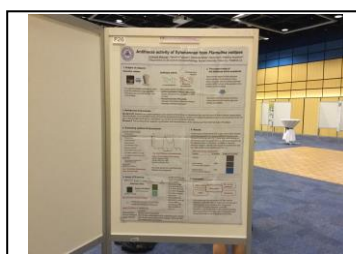
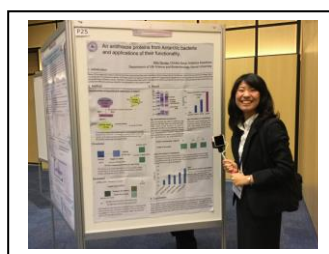


CRYO 2015 (the 52nd Annual Meeting of the Society for Cryobiology)
に参加して

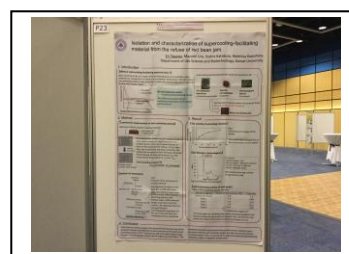
2015年7月26日～29日に、チェコ共和国、オストラヴァ市のClarion Congress Hotel Ostravaで開催されたCRYO2015に参加、発表してきました。学生はM1松田嘉幸、田中里佳、B4田川絵理の3名がポスター発表をしました。オストラヴァはチェコの第3の都市だそうです。プラハより特急で3時間の場所でした。ほとんどポーランドに近い都市です。飛行機はトルコ航空でしたので、イスタンブール経由で、関西国際空港を出発して、ほぼ1日以上の日程で目的地に着きました。参加した3名の学生のうち2名が初海外でしたので、いきなり遠い異国の地に行くのは「不安だ」と言っていました。



松田君ポスター



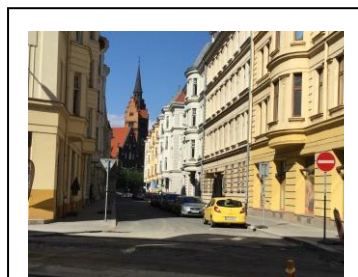
田中さんポスター



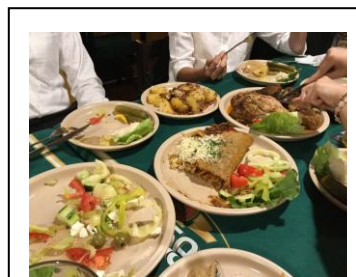
田川さんポスター

ホテルが会場でしたので、ほぼ毎日発表や議論を聞いていて、低温生物に関する研究の最先端の発表なので勉強になりました。同じ不凍タンパク質を研究しているイスラエルのIdo Braslavsky教授も来られていて、久しぶりに楽しい議論ができました。ポスター発表した3名の学生も、何名もの方が質問に来ており、苦手な英語を駆使して、説明していました。非常に良い経験になったと思われます。

帰国前日の夕食で、日本から来ていた田中博士とともにオストラヴァで食事をしました。水やコーラより安いビール（ピルスナー）は500ml 29コルナ（×



オストラヴァ市内



食事したチェコ料理

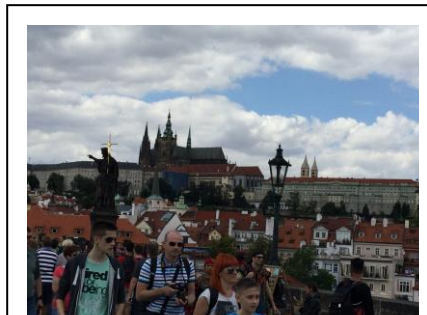
4.85円)です。写真のように、チェコ料理はおいしく、カツレツやチーズフライ、ウサギの肉などを食べました。

この国際会議参加のハプニングは最終日に起きました。ホテルから最寄りのトラムに乗り、駅まで行くために乗りました。その際、3名（松田君、田川さん、

田中博士) は前の車両、私と田中さんは後ろの車両に乗って、市内の繁華街の
トラム駅に着いたときに大ハプニング発生。突然、前の車両の3名がトラムか
ら降りているではありませんか。私と田中さんは、トラム内から啞然と外を見



特急列車内



プラハ市内

るだけで、離れ
離れになりました。
トラムは、
次の駅でストッ
プして、乗って
いた乗客は全員
降ろされました。

後でわかったことは、その日は中心地のメイン道路の工事で、トラムは駅に
行かない予定だったのです。3名と離れた私と田中さんは、iPADで地図を確認
しながら、駅に向かってひたすらスーツケースとともに歩きました(20分以上)。
運よく、工事がなくなった道路まで行けて、トラムに乗れて、数分で、プラハ
行きの特急に乗るオストラヴァ駅に着きました。3名と再会し、無事プラハに行
きました。夕方の飛行機まで3時間ほど、プラハ市内も観光でき、飛行機にて
大阪へ帰ることができました。

学会出張でのハプニングは久々に、何もトラブルなく、帰れてよかったとほ
っとしました。